



今後は、各企業に対し、間違いなく半強制的に省エネや環境改善を要求されることになります。

※これは以前にも予想していたことではありますが。。。

これまでは皆様の事業所におかれても、予算の範囲内で省エネや環境改善を進めていけば良かったのが、政府がこれだけ強力に計画を推進していくことになると、『ノルマと達成時期』が明確に定められることになり、待ったなしの状態になるであろうことは間違いありません。

先の報道の中にもありますように、『企業の省エネ診断や省エネ化に向けたソリューションなどを一括して提供できるサービスモデル』というのは、具体的には EMC 事業（日本で言うエスコ事業）を意味しており、初期投資を EMC 事業者が負担し、その効果を保守管理させることで、確実に省エネを達成していこうという意味なのです。

〇〇〇〇さんも、どうか状況をご確認ください、自治体より強制的に省エネさせられるよりも、自主的に省エネを行い、その効果を逆にアピールするような取り組みを始めてみてください。自治体の担当者は喜んで皆さんを支援してくれることでしょう。

これこそ、日本企業が持つメリットを 120%活かすことのできるチャンスだと思います。

弊社 STECO の EMC 事業に関してはコチラ↓

[http://www.steco.asia/emc\\_01.html](http://www.steco.asia/emc_01.html)

上海清環環保科技有限公司

## 【全国－製造】

## 省エネ促進で電機産業の発展モデル転換、工情省

工業情報省は6日、エネルギー効率の高い製品への買い替えや改造を促し、各種の需要を高めることで、機械・電機産業の発展モデルの転換を図る考えを示した。7日付新京報などが伝えた。

同省は6月、機械・電機製品の省エネ促進に向けた2015年までの計画を発表。13～15年の3年間が対象で、電機や変圧器、ボイラー、内燃機関を中心とした高エネルギー消費設備の省エネ化が重点作業となる。改造や買い替えを通じて、15年まで

には年間800億キロワット時(kWh)分の電力消費を抑える目標だ。計画を通じて、関連技術の底上げを図る狙いもある。

同省節電総合利用局などによると、実現に向けては、年間電力消費量が1,000万kWhを超える企業を主な対象に、保有する機械・電機製品の省エネに向けた計画案を提出させる方針で、エネルギー効率の悪い製品の淘汰(とうた)などを進める。地方政府には、企業が持つ機械・電機製品の改造支援と機械・電機メーカ

ーの支援に財政資金を投入するよう求める。

同省はさらに、廃棄された機械・電機製品の再製造事業を展開するほか、企業の省エネ診断や省エネ化に向けたソリューションなどを一括して提供できるサービスモデルを構築する計画だ。

中国の機械・電機製品が年間に消費する電力は現在約3兆kWhで、電力消費全体の64%、工業用電力消費の75%をそれぞれ占める。